

【中期目標(案)パブリックコメント 提出意見の概要及び意見に対する市の考え方(案)】

事前資料1-2

意見 件数	中期目標(案) 該当箇所 ※事前資料1-3	提出された意見の概要	提出された意見に対する市の考え方(案)	区分(案)
1	P5第4-2	自治医科大学附属病院のように病院駐車場を有料化して収益確保してはどうか。(有料ゲート設置し、交通指導員を置く。)	病院駐車場の有料化については、有料ゲートの設置費や維持管理費等を考慮し、見送りました。 今後、病院開院後の駐車場の利用状況により改めて病院(法人)において、検討して参ります。	D 今後の 検討課題
2	P3第2-3-(3)	人間ドックなどを行い、収益を上げるとともに予防医学部門の充実を図ってほしい。	予防医学においても生活習慣病などの発症を未然に防ぐ重要性が認識されており、人間ドックや健診の充実は重要と考えております。 今後、病院(法人)において、人間ドックや健診等の状況に応じ、予防医学部門の充実も検討して参ります。	D 今後の 検討課題
3	P5第4-2	職員を適正な数で、効率的に人員を配置することで費用が削減できると考える。	人員配置については、安全で質の高い医療提供を念頭におき、業務量や配属先に応じて健全経営及び人材育成が可能となるよう指示しております。 今後、病院(法人)において、開院時及び開院後も継続して効率的な運営に努めていくべきと考えております。	B 目標(案)に 盛り込み済
4	P4第2-5-(3)	病院ボランティアに対する交通費負担や有償ボランティアを考えても良いのではないかと。	現在、筑西市民病院にて、活動していただいているボランティアの方々もおり、住民のご理解・ご協力のもと、協働での病院づくり、地域医療づくりが重要と考えております。 今後、病院(法人)において、状況に応じ、検討して参ります。	D 今後の 検討課題
5	P1第2-1-(1) P2第2-1-(2)	全ての患者・家族に対して、やさしさ、思いやりを持って、笑顔で365日診療してほしい。	患者さんやご家族等、来院する方への接遇や急性期を担う病院としての診療体制は、共に重要な項目と考えておりますので、中期計画の策定時に具体策を検討して参ります。	C 中期計画 で対応
6	P2第2-1-(5)	現在の筑西市民病院を独居老人の生活の場として、再考してはいかがかと。	筑西市民病院については、今後の更なる高齢化を見据え、幅広い在宅医療の診療体制の構築を目指し、在宅療養支援診療所としていくことを考えておりますので、ご理解いただきたいと存じます。	D 今後の 検討課題

意見 件数	中期目標(案) 該当箇所 ※事前資料1-3	提出された意見の概要	提出された意見に対する市の考え方(案)	区分(案)	
7	P1前文	常勤、非常勤医師の減少の根拠であり、理解しやすいように2004(平成16)年施行の新医師臨床研修制度としてはいかがか。	新医師臨床研修制度という文言で伝わると考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。	E	目標(案)に反映しない
8	P2第2-1-(2)	地域を絞るため項目名に当を加え、当地域特性をととしてはいかがか。	地域特性という文言で伝わると考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。	E	目標(案)に反映しない
9	P2第2-1-(3)	がん、脳疾患、心疾患、糖尿病への対応において、他医療圏にある高次医療機関との連携を加えてはどうか。	がん、脳疾患、心疾患、糖尿病への対応は地域の医療機関に加え、専門治療や先進治療を行う高次医療機関との迅速かつ緊密な連携も重要と考えられますので、修正させていただきます。	A	目標(案)を修正する
10	P2第2-2-(1)(2)(3)	医療提供体制の整備の部分を実現してほしい。	安定した病院経営基盤を構築するため、医療提供体制の整備は、必要不可欠であり、医師をはじめとしたスタッフの確保、医療技術の向上、チーム医療を推進することで患者さん中心の良質な医療を提供することを指示しておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。	B	目標(案)に盛り込み済
11	P3第2-3-(2)	利便性の向上について、実行性を考慮して、検討してほしい。	患者さんやご家族だけでなく、病院に来院されるすべての方が少しでもストレス無く便利であると感じられるよう病院内外の環境整備が必要であると考えておりますので、中期計画の策定時に具体策を検討して参ります。	C	中期計画で対応
12	P3第2-4-(2)	地域医療連携のコントロールタワーとしての役割を果たす状況に開院時になるのか。	現在、両医療監を中心に各医療機関での説明等を行っておりますが、地域医療連携の拠点となるためには、開院後も様々な活動が重要であると考えておりますので、中期計画の策定時に具体策を検討して参ります。	C	中期計画で対応
13	P4第3-1-(2)	法人職員という言葉があったが、限られた資格があるのか。	地方独立行政法人制度の特長の1つとして弾力的な職員採用があり、新卒の方だけでなく中途の方も知識や経験、資格に応じて柔軟に採用することが可能となります。採用時の資格の有無を含め、今後、病院(法人)において、目指す医療提供水準を考慮し、検討して参ります。	D	今後の検討課題

意見 件数	中期目標(案) 該当箇所 ※事前資料1-3	提出された意見の概要	提出された意見に対する市の考え方(案)	区分(案)
14	P5第4-1	筑西市からの運営費負担があるならば、金額や年数ほどの程度か。	病院事業は、独立採算の自立的な運営が基本となりますが、公共性のある政策的な医療については、負担金を設立団体の筑西市が負担することになります。負担額及び年数等については、地方公営企業の繰出基準に基づき、都度に精査していく考えでございます。	D 今後の 検討課題

意見 件数	中期目標(案) 該当箇所 ※事前資料1-3	提出された意見の概要	提出された意見に対する市の考え方(案)	区分(案)
15	P3第2-4-(1) P5第4-1	地域の開業医との紹介・逆紹介が収益改善に必要であるため、定期的な医師会・住民代表・行政での確認する機会を設けてはどうか。	地域の開業医との連携は、収益改善だけでなく、この地域全体の医療提供体制の整備における重要課題と考えておりますので、現在の地域医療懇談会も含め、市民ニーズの把握に努めてまいります。	D 今後の 検討課題
16	P3第3-3-(3) P5第4-1	予防医療及び病院収益に寄与するため、人間ドック・健診メニューを用意してはどうか。	2次救急医療の完結という所期の目標を達成することを念頭に置き、今後、病院(法人)において、予防医学部門の充実を検討する際に併せて、人間ドックや健診についてもニーズ等を鑑みながら、検討して参ります。	D 今後の 検討課題
17	P2第2-1-(2)(4) P3第2-4-(1)	急性期医療及び小児医療の実施に向け、専門医の確保及び地元医療機関との連携に取り組んでほしい。	今回の病院整備事業において、医療提供体制の構築は必要不可欠でありますので、医師の確保及び医師の働く環境の整備とともに病院の開院後も地元医療機関との機能分担や連携について、継続的に推進・強化を指示して参ります。	B 目標(案)に 盛り込み済
18	P4第2-5-(3)	市民への情報発信の強化。	積極的な広報及び情報の発信・共有については、目的や対象に応じて適切に実施することが重要と考えております。今後、病院(法人)において、具体的な実施方法を検討して参ります。	D 今後の 検討課題
19	P4第2-5-(3)	市民・病院・医師会・行政4者で病院運営の改善に向けた話し合いの場の確保、理事会への提言制度の確立。	病院経営及び運営の改善に向けた各方面からの意見聴取や検討は重要と考えておりますので、現在の地域医療懇談会も含め、今後、検討して参ります。	D 今後の 検討課題
20	該当無し	病院の開院後、2~3年以内に脳外科、産婦人科、総合診療科の新設を希望します。	患者さんの病態にあった良質な医療の提供、また病院運営における医療需要等の変化に即した診療科の充実や再編は、極めて重要と考えております。今後の動向を踏まえて、病院(法人)において、検討して参ります。	D 今後の 検討課題